

\\ 海外ドラマで \\
ネイティブが利用する
英単語・フレーズ
137選

海外ドラマ年間300本以上視聴するマニアが
137個の英単語・フレーズを厳選!!

- ✓ ドラマで覚えた英単語がだから忘れない!
- ✓ ドラマの表現だからこそネイティブが
本当に使う表現が分かる!
- ✓ イメージ・感情とともに記憶できるから
使える英語が定着する!

フォロワー
12 越え!
万人
英語コーチ著書

**海外ドラマでネイティブが利用する
英単語・フレーズ137選**

はじめに

皆さんは、単語帳で単語を覚えようと頑張っているけども

「文字だけだとなかなか記憶できない」

「いざ使いたい時に単語がパツと出てこない」

と感じていませんか？

実は、私自身かつて一生懸命単語を覚えても、実際の英会話では覚えた単語を使えないという悩みを抱えていました。

英語初心者の時は単語帳でひたすら語彙を増やすという作業を繰り返していたのですが、そのやり方ではなかなか記憶に残らず、しかもほとんどの単語を作業的、機械的に暗記をしていました。そのため、資格試験以外の場面でどのように使用するかをイマイチ理解していないままでした。

ただ単に単語帳で単語の日本語の意味を調べても、どこでどんなタイミングで使用するか、そして他の類義語とどんなニュアンスの違いがあるかが身に付きづらかったのです。

しかし、映画の1シーンなどで使用されている単語を覚えると、その登場人物の表情や声のトーンなど色々な要素と共に覚えるため、自分の生活で似たようなシーンに遭遇した際にそのまま使用することが可能になりました。

ある時海外のニュースを見ていると、殺人事件の様子が映されました。専門用語やネイティブ特有な言い回しが飛び交っているにも関わらず、8割ほどの内容をスラスラと理解できて、自分で驚いたのを覚えています。

当時CSIというアメリカの科学捜査班が最新科学で殺人事件を解決していくという連続ドラマシリーズを狂ったように毎日見ていたので、殺人事件や人体に関する単語を知っていて、知らない単語があってもその意味を推察する能力が高くなっていました。

そして印象的だったのが、ドラマで使用されている単語の用法とニュースで実際に出てきた単語の用法がほとんど同じだったことでした。

つまり、映画やドラマのセリフというのは、ネイティブが日常で使う言い回しや用法と極めて似ているということに気づきました。

映画やドラマで英語を学習すると、ただ単に参考書を読んで学ぶよりも“より自然な”日常会話表現を大量に学ぶことができ、自身が同じシチュエーションに遭遇した際にそのまま使用できる可能性が高いのです。

“自然な英会話表現”の習得法は、もちろん“ネイティブの会話を真似ること”です。そしてネイティブの日常会話を一番大量に学べる場所が“映画やドラマ”なのです。

そこで、皆さんにもこの勉強法の素晴らしさを知って欲しくてこのフレーズ集を作成しようと思い立ちました。今回はテーマを“恋愛”に絞って、映画で登場した単語や言い回しを基に、恋愛で役立つフレーズを会話形式の文章で紹介しています。

恋愛というシチュエーションの中で、ネイティブスピーカー達がどうやって各々の感情を表しているのかを本書から学び吸収して、皆さんの英会話に活用していただけたら幸いです。

自己紹介

僕は自他共に認める洋画マニアで、年間300本以上の洋画や海外ドラマをジャンルを問わず視聴します。それと同時に物語の中で登場するフレーズや単語をひたすら覚えるという英語学習法を何年も行ってきました。

その結果、現在では翻訳のお仕事をさせて頂けるほどの英語力を手に入れることに成功しました。映画鑑賞だけでこの英語力を手に入れたわけではありませんが、語彙力や文法理解が飛躍的に伸びたのは間違いなくこの勉強法のおかげです。

元々映画の好みがビジネス系から恋愛、SF、戦争系まで幅広く、その結果たくさんのフレーズや言い回しを習得できたので、翻訳の仕事に関しても様々なジャンルを幅広くこなせるようになりました。これは間違いなく洋画での英語学習の賜物です。

目次

1. 片思い
2. 喧嘩
3. 別れ
4. 失恋
5. 浮気
6. 彼氏/彼女
7. 元カレ/元カノ
8. 恋愛相談
9. デート
10. 悩み相談



Section01

片思い

単語

- ▶ **have a crush on ~**
- ▶ **I'm in love with ~**
- ▶ **out of someone's league**

意味

～に片思いしてる

～に恋してる

高嶺の花

シーン

友人が高嶺の花に片思い中

会話の例

A: **I have a crush on a girl I met at work! I'm in love with her!**

職場で出会った娘に片思い中なんだ！彼女に恋してるんだ。

B: **You are kidding right? She is so out of your league.**

冗談だろ？彼女は君にとって高嶺の花すぎるよ。

POINT

・恋愛の場面での **crush** は「関係の深くない相手や、よく知らない相手に対する恋愛感情」＝「おそらく成就しない恋愛感情」として使用されます。

・そこから派生して、憧れの芸能人 **celebrity crush** や 憧れの同性 **man/girl crush** のような使用方法もあります。

例: **Who's your celebrity crush?** (好きな芸能人誰?)

・**I'm in love with ~** 「～に恋してる」この表現は片思いの相手や付き合いのまだ浅い恋人(恋愛の初期段階)に対して使用します。それに対し **I love you** は付き合いの長い恋人や家族に対しての愛情を示す際に使用されます。

・両親や兄弟に **I'm in love with you** はNG、**I love you** はOK。家族のメンバーを「愛して」ることはあっても「恋して」ることはあまりないでしょうから。

・**out of someone's league** 「高嶺の花」ここでいう**league**は野球やサッカーなどのリーグを思い浮かべてください。1軍と2軍、AリーグとBリーグくらい差がある＝手が届かない存在、レベルが違いすぎるというイメージです。

・恋愛以外の「手が届かない」にも使えます。

例: **This watch is too expensive.**

It's out of my league. (この時計は高価すぎて僕には無理だ。)

単語

- ▶ **head over heels**
- ▶ **butterflies in my stomach**
- ▶ **over the moon**
- ▶ **fall in love**

意味

～に夢中
ソワソワして落ち着かない
最高に幸せ、天にも昇る心地
恋に落ちる

シーン

友人が彼氏にゾッコン

会話の例

A: I'm **head over heels** in love with him.

私、彼にゾッコンなの。

A: My heart is pounding, and I'm getting **butterflies in my stomach!**
I'm over the moon!

胸はドキドキするし、ソワソワして落ち着かない！
最高に幸せな気分！

B: That's what happens when someone is **falling in love.**

恋に落ちてる時ってそういうものよ。

POINT

・**head over heels** 直訳すると「かかとうが頭より上」、元々は「逆さま」の意味で使用されていましたが次第に「異性や恋人に夢中」という使われ方に変化していきました。体がひっくり返るほど好き!のようなニュアンスで覚えましょう。**head over heels in love with him** や **head over heels for him** のように使いましょう!

・**I'm head over heels in debt.**(借金で首が回らない。)という使い方も可能です。人生何が起こるかわからないので念のため覚えておきましょう。

・**butterflies in my stomach** 緊張や期待でお腹のあたりがソワソワして落ち着かない状態を表すフレーズ。ポジティブ、ネガティブどちらのシチュエーションでも使用できます。

例: **I always have butterflies in my stomach before an exam.**(テストの前はいつも気持ちがソワソワして落ち着かない。)

・**over the moon** 直訳すると「月を越える」。月を飛び越えてしまうほど嬉しいというイメージを持ちましょう。例: **Lisa was over the moon when she heard her sister had her baby.**(リサは姉の出産を聞いて、天にも昇る気持ちになった。)

・**fall in love** 「恋に落ちる」徐々に誰かを好きになるというよりも急に恋に落ちこちるイメージ。この場合のloveは恋愛対象へのlove。友人や家族への使用はNG。

単語

- ▶ love at first sight
- ▶ rumor has it that
- ▶ harsh
- ▶ demanding
- ▶ stubborn

意味

一目惚れ
噂によると
辛辣、キツイ、辛口
注文が多い、要求が多い
頑固、意地っ張り

シーン

一目惚れした女の子について話している

会話の例

A: I fell in love with Lisa **at first sight**.
あのリサって子に**一目惚れ**してしまった。

B: **But rumor has it that she is harsh, also demanding, stubborn.**
だけど**噂**によると、リサは**キツイ**性格で、更に**ワガママ**で**頑固**らしいぞ。

POINT

・**at first sight** 「一目で」 + **fall in love** 「恋に落ちた」という構造。無生物主語を用いて文を作ってみるとこんな感じ。

例: **It was love at first sight.** (あれは一目惚れだった。)

・**rumor has it that** の **rumor** の部分を他の言葉に置き換えると、様々なフレーズに変化させることができます。

例: **Popular opinion has it that** 「世間一般の意見によると」、**Gossip has it that** 「ゴシップによると」、**Urban legend has it that** 「都市伝説によると」など。

・**harsh** は「キツイ、ひどい、厳しい」などの意味を持つ形容詞です。主に人の態度や発言に対して使用します。

例: **Mom didn't have to be so harsh.** (ママってば、そんなにキツイ言い方しなくてもいいのに。)

・**demand** 動詞の場合「要求する、請求する」、名詞は「要求、請求」となりますが、**demanding** の場合「過度に要求、請求する」というネガティブなニュアンスを含むフレーズになります。

例: **a demanding customer** 「要求の多い顧客」

・**stubborn** 「頑固な、強情な、意地を張る」などの意味を持ち、人の性格に対してだけでなく、「頑固な汚れ」や「なかなか治らない風邪」などにも使用されます。

例: **a stubborn stain** 「落ちにくい汚れ」、**a stubborn cold** 「しつこい風邪」



Section02

喧嘩

単語

- ▶ flip out
- ▶ piss off
- ▶ cuddle

意味

- カッとなっている
- 怒らせる、イライラさせる
- 添い寝、抱きしめる

シーン

彼女の機嫌が悪い

会話の例

A: Is this a bad time to talk?
今、話しかけない方がいい？

B: Yeah, I'm just **flipping out** right now.
そうね、今は頭に血がのぼってるから。

A: Are you **pissed off** at me because I **didn't cuddle** last night??
昨日添い寝しなかったから怒ってるの??

POINT

・**flip** は「めくる、ひっくり返す」の意味を持つ動詞、**flip out** で「カッとなる、パニックになる」の意味。激しい怒りで理性を失っているイメージ。

・「ひどく喜ぶ、熱中する」などの意味も一応ありますが、基本的には怒りやパニックなどネガティブな意味で使われるケースがほとんどです。

・**piss off**「ブチギれる、イラつかせる」という意味を持つ超頻出スラングです。

例: **Ken always pisses me off.** (ケンはいつも私をイライラさせる。)

piss off は「どっかいけ、失せろ」の意味も持ちます。

例: **Piss off!! I don't wanna see your face anymore.** (失せろ! もう顔も見たくない!)

・**cuddle**の基本意味は「抱きしめる」。

hug「ハグする」との違いは、**hug**は立ったまま一時的に抱擁するのに対し

cuddleは愛情を持ってしばらく抱きしめているというイメージ。

そこから派生して「添い寝」の意味を持つようになりました。

単語

- ▶ **mess up**
- ▶ **friends with benefits**
- ▶ **how dare you!**
- ▶ **beg**

意味

失敗、台無し

身体だけの関係

よくもそんなことを！フザケンナ！貴様！

懇願する

シーン

関係のもつれによる喧嘩

会話の例

A: You are just like every other guy!
I actually thought you were different.
I messed up!

結局あんたも他の男と同じね！あなただけは違うと信じてたのに。最悪、失敗したわ。

B: **What do you mean different? You said we're just friends with benefits!**
違うって何が？身体だけの関係って言ってたのはそっちだろ？

A: **How dare you! I beg you to stop talking.**

よくもまあそんなことを！お願いもう黙って。

POINT

・**mess up** 何か大きな失敗をやらかしてしまった時に使用するネイティブ御用達のスラング表現。

It was almost perfect but I messed up the last question on the exam. (ほぼ完璧だったのに最後の問題間違えちゃった)

「ぐちゃぐちゃな状態」や「理不尽」という意味も持ちます。

例: **That's messed up.** (それって理不尽な話だよな。)

・**friends with benefit** 直訳すると「互いに利益のある友人」ですが、この1フレーズで「身体だけの関係」という大人な意味を持ちます。

日本で使用される「セックスフレンド」は和製英語ですのでご注意ください。

・**dare** 単体だと「挑戦、大胆、～する勇気がある」の意味を持ちます。

例: **Do you dare to tell him about that?** (それを彼に言う勇気あるの?)

・**beg** は「許しを請う、恩恵を求める」などの意味を持つ。そこから派生して、「お願いだから」というニュアンスになります。

例: **I'm begging you to stop him.** (お願いだから彼を止めて。)

単語

- ▶ **make up**
- ▶ **patch things up**
- ▶ **to be honest**
- ▶ **jealous**

意味

仲直りする

仲直りする、関係を修復する

正直に言うと、実は

嫉妬している

シーン

仲直りする

会話の例

A: You have to talk to me, Sara. I want to **make up** with you before I go to study abroad.

サラ、俺と話をしてくれ、留学へ行く前に**仲直り**がしたいんだ。

B: I was thinking that too. We should **patch things up** before we start long distance relationship.

私も同じこと考えてたわ。遠距離になる前に**仲直り**しといた方がいいわよね。

B: **To be honest**, I was just **jealous** of you talking to Lisa with such joy.

正直に言うと、あなたがリサと楽しそうに話しているのを見て**嫉妬**してただけなの。

POINT

・人間関係の場面で **make up** は「仲直りする」の意味を持ちます。

例: **Let's make up. Argument doesn't help.** (仲直りしよう、言い争ってたってしょうがないよ。)

・ **make up** は「埋め合わせをする」の意味も。

例: **I made up for breaking Ken's PC by buying new one.** (ケンのPCを壊したお詫びに、新品を購入した。)

・ **patch**「(布などを)継ぎ合わせる、継ぎ当てる」の意味から派生して **patch (things)up**で「仲直りする」の意味を持つようになりました。

例: **You should patch things up with Lisa.** (君はリサと仲直りすべきだ。)

・ **to be honest** で気をつけて欲しいのが、このフレーズを使う時は何か気まずいことやネガティブなことを正直に話す時のみです。明るいニュースやポジティブなことを話し始める時には **Actually** などを使用しましょう。

・ **be jealous of ~** で「~に対して嫉妬する」

例: **I'm jealous of your ex.** (君の元カノに嫉妬している。)

単語

- ▶ nag
- ▶ Don't patronize me
- ▶ Whatever
- ▶ I'm done with you

意味

小言を言う、口うるさくする
 子供扱いするな、偉そうにするな
 どうでもいい、なんでもいい
 あなたとはもう終わり(別れる)

シーン

夫婦喧嘩

会話の例

A: Stop **nagging** me! Get out of my room!

ガミガミ言うのやめろよ! 部屋から出てってくれ!

B: You think I'm **nagging** you? Okay, you can leave your socks all over the house and just play video games.

小言が多いっていの? わかったわ、これからは家中に脱いだ靴下を放置してゲームでもしてなさいよ。

A: **Don't patronize me!** Please just let me be alone.

上から目線やめろよ! 頼むから1人にしてくれ。

B: **Whatever. I'm done with you.**

どうでもいいわ。あなたとはもう終わりよ。

POINT

・nag「ガミガミ小言を言う」例

: **My mom is always nagging and yelling.** (うちのお母さんはいつもガミガミ小言を言ったり怒って叫んだりしてる。)

・patronize「保護する、恩着せがましくする」などの意味を持つ動詞です。**Don't patronize** で、上からモノを言ってくる相手を非難する意味を持ちます。

patronizeには「ひいきにする」の意味も。

例: **The restaurant is patronized by students.** (そのレストランは学生たちにひいきにされている。)

・Whatever 相手の発言に対して**Whatever** とだけ返す場合「全然興味ない」の意味に。言い方や状況にもよりますが無関心の意思表示になり得るので、使用の際にはご注意ください。

例: A: **My dad was a famous baseball player!** B: **Whatever, who cares?** (A: 私のパパは昔有名な野球選手だったんだよ! B: へー、知らんがな。)

・I'm done は恋愛や人間関係の場面では「関係が終わった」を表現できます。それ以外にも「仕事、食事を終えた」「疲れた」など、様々な場面で使用できます。



Section03

別れ

単語

- ▶ **we need to talk**
- ▶ **take a break**
- ▶ **freak out**

意味

話したいことがあるんだ

距離を置く

パニックになる、驚く、怖がらせる

シーン

別れ話を切り出す時

会話の例

A: **Ah...Sweetie, we need to talk.....**
話があるんだけど…

A: **I think we should take a break.**
俺たち少し距離を置くべきだと思う

B: **Why all of the sudden? You're freaking me out.**
急にどうしちゃったの？ 私今パニックだわ。

POINT

・**we need to talk** は「とてもネガティブなことを話します」という決まり文句のようなものです (**piece of cake**を「楽勝!」と訳すような感じ)。

恋愛の場面で使用される場合、高確率で別れ話です(会社で上司からこう切り出された場合、クビや減給などを覚悟しましょう。お笑いコンビやバンドを組んでいるなら解散話でしょう)。

あるいは、相手に対してイライラしている場合 **We need to talk** で会話を始める場合もあります。

例:**We need to talk about your grades.**(母「あなたの成績について話がある。」)

普通に話がある場合は、**Can I talk to you?** や、**Can we talk?** など

we need totalk 以外の表現を用いて誤解を避けましょう。

・**take a break** 本来の意味は「休憩する」ですが、恋愛や別れの場面で使用する場合は、「距離を置く」と遠回しなニュアンスの「別れたい」の意思表示になります。

・**freak out** 非常に驚いた時やゾッとした時に使うフレーズ。

例:**Don't freak meout.**(びっくりさせないでよ! もう!)

そこから派生して「パニックになる」という意味も持っています。突然の驚きや嫌悪感が原因で、正気を保てないイメージです。

単語

- ▶ **break up**
- ▶ **fall out of love**
- ▶ **from the bottom of my heart**

意味

- 破局する、別れる
- 恋から覚める、愛が冷める
- 心の底から

シーン

別れ話、
しかし彼氏は納得がいかない

会話の例

A: I don't think we need to **break up**.
俺たち**別れる**必要なんてないだろ。

B: We both know I need to **fall out of love with you**.
わかってるでしょ、私はあなたとの**恋から覚める**べきなの。

A: But you know, I love you **from the bottom of my heart**.
だけど、僕は**心の底から**君を愛してるんだ。

POINT

・**break up**「破局する」

We broke up. (私たち別れたんだ。)や**I broke up with him.** (彼と別れた。)のように使いましょう。
破局以外にも「跡形もなくバラバラに壊れる」の意味も持ちます。

例:**He broke up the concrete block.** (彼はそのコンクリートブロックを粉々にした。)

・**fall out of love**「恋から覚める、愛が冷める」の意味を持ちます。

fall in love「恋に落ちる」の正反対のフレーズと覚えましょう。

I fell out of love with him. (私は彼に冷めた。)や、

We fell out of love. (私たちの恋は冷めてしまった。)のように使用できます。

・**from the bottom of my heart**「心の底から」恋愛だけではなく、感謝を述べる時、皮肉交じりに相手を口撃する時など、多種多様な場面で使用可能です。

単語

- ▶ **soul mate**
- ▶ **lash out**
- ▶ **chill out**

意味

ソウルメイト、運命の人
 暴言を吐く、激しく非難する
 落ち着いて

シーン

別れ話、
 しかし彼女は納得がいかない

会話の例

A: **We should take a break.**
 少し距離を置こう

B: **No way!! You said I was your soul mate!!!**
 なんでよ！私はあなたの運命の人って言ってたじゃない!!!

A: **Chill out, Don't lash out on me like that.**
 そんな食ってかかるなよ、落ち着いて。

POINT

・**soul mate** 直訳すると「魂の仲間」になり、心と心が深く繋がった運命的な関係、恋愛関係なら「運命の人」、友人との間なら「心の友」を意味します。

soul mate は恋愛の場面で使われることが多いので、友人に向かって突然**You are my soul mate!** と言うと恋愛感情があると捉えられる可能性があるのでご注意ください。

・**lash out** は暴言を吐いたり激しく叩くなど、「言葉や暴力によって相手を強く攻撃する」ことを表すフレーズ。そこから派生して「キレル」という意味でも使用されます。

例: **I'm sorry I lashed out at you.** (君にキレてしまっておめんね。)

・**chill out** 「落ち着いて」は**calm down**や**settle down**と同様に、相手を落ち着かせる時に使うフレーズ。**chill out**の方が**calm down**や**settle down**よりも少し強めに相手をなだめるニュアンスを持っています。

単語

- ▶ **worlds apart**
- ▶ **dramatic**

意味

全く違う世界(境遇)
大げさな、ドラマチックな

シーン

別れ話

会話の例

A: **Why do you think we should break up?**
なぜ私たちは別れるべきだと思うの？

B: **I'm just a nobody. You're a beautiful and successful woman. We're worlds apart.**
僕はただの男だけど、君は美しくして社会での成功者だ。僕たちは**住む世界が違う**んだ。

A: **Don't be so dramatic! To me, you're perfect.**
大げさね！私にとってあなたは完璧な人よ。

POINT

・**worlds apart** 「かけ離れている、全然違う」**world**「世界」+**apart**「離れる」=**worlds apart**「全然違う世界」というイメージ。

日常頻出フレーズ というより、どちらかという歌詞などに登場する詩的な表現に近いです。もっと口語的に言いたいのなら

totally different, completely different 「全く違う」の方が自然な表現。

・**dramatic** 「劇的な、演劇の、芝居がかった」という本来の意味から派生して、日常会話などで使う際には「大げさな、ドラマチックすぎる」などのニュアンスを持つフレーズになります。

単語

- ▶ **deserve**
- ▶ **stay friends**
- ▶ **totally**

意味

ふさわしい、～の価値がある

友達でいよう

もちろん

シーン

爽やかに別れるカップル

会話の例

A: **This is my fault. You **deserve** better than me.**

俺が悪かった、君にはもっと**ふさわしい**相手がいるよ。

B: **That's what I should be saying, you are a great guy.**

こっちのセリフよ、あなたは素晴らしい男性だわ。

A: **I really want to **stay friends**.**

これからもいい**友人**でいて欲しいんだ。

B: **Totally.**

もちろんよ!

POINT

・**deserve** 日本語に直訳すると「～に値する」となりますが、そんな堅苦しいニュアンスではなくカジュアルなシーンで使用可能。

例: **You deserve to win.** (あなたは優勝に値する。(それだけの努力の軌跡や才能を持っている。))

基本的に褒める場面で使用するがネガティブな意味にも使える。

例: **They should get the punishment they deserve.** (彼らは行いに見合う罰を受けるべき。)

・**stay friends** 愛の告白を相手を傷つけないように断る時にも使用可能。

例: **I can't be your girlfriend but let's stay friends.** (あなたの彼女にはなれないけど、いい友達でいたいのだ。)

・**totally** 「全く、完全に」という意味を持つ副詞ですが、相手が言ったことに対して100パーセント同意するというスラング的用法もあります。

例: A: **Ken is so handsome.** B: **Totally!** (A: ケンめっちゃイケメンだね。B: ホントだね!)



Section04

失恋

単語

- ▶ **dump**
- ▶ **That's life**
- ▶ **That's a shame**
- ▶ **There's plenty of fish in the sea**

意味

誰かを振る/捨てる
 仕方ないね、人生そんなもんだね
 それは残念だ
 他にもいい人いるよ

シーン

恋に破れた友人を励ます

会話の例

A: **She dumped me. I'm so sad but that's life....**

彼女に振られたんだ。めっちゃ悲しいけど、仕方ない…

B: **That's a shame but you're the best guy I know. Plus, there's plenty of fish in the sea.**

それは残念だね。でも大丈夫、君は最高の男だよ。それに女の子は星の数ほどいるんだから。

POINT

・**dump** 本来の意味は「ゴミを捨てる、放り投げる」。そこから派生して、恋愛の場面では「振られる、捨てられる」の意味を持つようになりました。

私が～に捨てられた。と主語が自分の場合 **I was dumped (by someone)** や **got dumped (by someone)** のように受動態で言いましょう。

・**That's life** 「それが人生さ」何か不可避な悲しいことが起こってしまった時にネイティブが口にするフレーズ。日本語で言う、「しゃーない」「人生そんなもん」に近いニュアンス。

It can't be helped. That's how it goes. That's the way it is. It is what it is.なども「仕方ない」の意味を持ちます。誰かを励ます際に活用してみてください。

・**shame** 本来の意味は「恥」。この意味で使う場合不可算名詞なので a はつきませんが、**That's a shame. It's a shame. What a shame.** (いずれも「残念だね。’)のように **a** を頭につける場合 **shame** のもう一つの意味の「残念だ、不運だ」になります。

・**There's plenty of fish in the sea.** 直訳で「海に魚はたくさんいるよ。」＝「女/男の人なんて他にもたくさんいるよ!」という失恋した人を励ますお決まりフレーズ。

plenty 「たくさん、十分」

単語

- ▶ **get over**
- ▶ **none of your business**
- ▶ **acting weird**
- ▶ **devastated**

意味

- 乗り越える、(未練を残さず) 忘れる
- お前に関係ないだろ
- 様子が変
- 悲しみに打ちひしがれてる

シーン

友人がヤサグれている

会話の例

A: You really should stop drinking.
Are you trying to **get over** your ex??
You've been **acting weird**.

飲み過ぎはマジでやめときなよ、元カノとのことを忘
れようとしてるの?? 最近様子がおかしいぞ。

B: It's **none of your business**. I'm just
devastated.

君に関係ないだろ。ただズタズタに打ちのめされて
るんだよ。

POINT

・本来の**get over**の意味は「困難などを乗り越える、病気などを克服する」ですが、恋愛の場面では「(未練な
どを残さず)元恋人を忘れる」のようなニュアンス。

例: **Lisa is trying to get over her ex.** (リサは元カレを忘れようとしている。)

この「乗り越える」の意味は様々な場面で応用可能です。

例: **I'm trying to get over the death of my dad.** (僕は父の死を乗り越えようとしている。)

似たような表現としては**overcome**「乗り越える、打ち勝つ、克服する」があり、**get over**に対して置き換えるこ
とが可能です (恋愛の場面では**get over**が最適)。**get over**よりも自分の力で壁を打ち破る!のような強い
ニュアンスがあります。

例: **He overcame his weakness.** (彼は彼自身の弱点を克服した。)

・**none of your business** と似たような表現で**mind your business**「余計なお世話だ」があります。
どちらも攻撃的なニュアンスがあるので使用の際はご注意ください。

・**act weird** で、様子がいつもと違うという言い回しになります。

例: **If you start acting weird, they'll all find out our secret plan!** (いつも通りに振る舞わない
と、皆に秘密の計画がバレちゃうだろ!)

・**devastate**「壊滅する、荒廃させる」という動詞。**I'm devastated** で「精神的に壊滅的なダメージを負っ
た」のような意味合いに。

単語

- ▶ **cry your heart out**
- ▶ **toughen up**
- ▶ **take breath away**
- ▶ **get used to ~**

意味

気の済むまで泣く、思い切り泣く
 (精神的に)強くなる
 息もできないくらい夢中
 ~に慣れる

シーン

失恋した友人を励ます

会話の例

A: You know you can **cry your heart out** in front of me.

私の前では、**気の済むまで泣いて**いいんだよ。

B: I realized that I gotta **toughen up**. I haven't shed a tear since then.

私は**強くなる**べきって気づいたの。それ以来一度も涙を流してないわ。

A: One day, you'll meet someone and that person will literally **take your breath away**.

いつか**息もできないくらい夢中**になれる人に出会えるわ。

B: I'm just gonna have to **get used to this until then**.

それまではこの悲しみに**慣れる**しかないのね。

POINT

・**cry your heart out** 「気の済むまで泣く、思いっきり泣く」普通にシクシク泣くのではなく胸が張り裂けそうな気持ちと共に泣くイメージです。

・**toughen**は形容詞**tough**「強い、たくましい」に接尾辞**-en**がついた形で「強くする」という意味の動。
toughen up penalties 「刑罰を強化する」のように人や精神以外にも使用できます。

・**take someone's breath away** 「~の息を奪う」→「呼吸できないほど夢中にさせる」というロマンティックなフレーズ。

例: I love you. You take my breath away. (息ができないくらい愛してる。)

・**get used to ~** で「慣れる」ですが**be used to ~**で「~に慣れている」

例: She is used to speaking Korean. (彼女は韓国語を話すことに慣れています。)



Section05

浮氣

単語

- ▶ **cheat on**
- ▶ **sleep with**

意味

浮気する、卑怯な行為をする
肉体関係を持つ

シーン

浮気を疑われている

会話の例

A: You know, I would never **cheat on you**. Not under any conditions.
私はいかなる状況でも絶対に**浮気**なんてしないわ!

B: **And neither would I, please trust me!**
俺もしないよ! 信じてくれよ!

A: I know you **slept with my best friend!**
私の親友と**関係を持った**って知ってるんだからね!

POINT

・**cheat on** ~ 「~に対して浮気をする」元々は「人を騙す」という意味のフレーズ。

恋愛の場面においては浮気の意味で用いられます。恋愛関係の中での卑怯な行為→浮気のようなイメージ。

affair「不倫、不貞行為」は **cheat** よりももっと深刻なニュアンスを含みます。

しかし、絶対に**affair**=不倫 **cheat**=浮気 というわけではなく、

Ken is cheating on his wife のように、夫婦関係で**cheat**を使ってもOK。

・**sleep with** ~ で、「~と肉体関係を持つ」という決まり文句になります。

I will sleep with my friendなどと言ってしまうと誤解される原因になるので、友達宅へお泊まりしに行く際は**sleep over**「外泊する」を使いましょう。

単語

- ▶ **What's wrong with you**
- ▶ **It's just your imagination**
- ▶ **paranoid**

意味

何してんだよ!

気のせいだよ!

被害妄想、気のせい

シーン

友人に夫婦関係の相談をしている

会話の例

A: **I feel my wife is avoiding me recently. I feel she is cheating on me.**
最近、妻に避けられてる気がするんだ。浮気されてる気がするんだ。

B: **What's wrong with you?? She really loves you. It's just your imagination!**
何考えてんの?
彼女は君を本当に愛してるんだぞ。ただの**気のせい**だって!

A: **Sorry, maybe I'm just being paranoid.**
ごめん、少し**疑心暗鬼**になってるかも。

POINT

・**What's wrong?**は「何があったの?」と相手を気遣うニュアンスがあるのに対して、**What's wrong with you** は「何してんだよ」「頭おかしいのか」のような、相手を責める、相手に問題があるというような意味を持ちます。

・**imagination**「妄想、空想」という意味を持ち、そこから派生して「気のせい、思い過ごし」という意味も持ちます。

It's just someone's imagination で「～の気のせいだよ、気にしすぎだよ」という決まり文句になります。友人がマイナス思考に陥ってる時には、この言葉をかけて元気付けてあげましょう。

・**paranoid** は「被害妄想、疑心暗鬼」の意味を持つ形容詞。根拠もないのに異常に何かを恐れたり不安になったりする様子を表しています。

例:**Ken is totally paranoid. He thinks everybody hates him.** (ケン是完全に被害妄想に囚われていて、みんなが彼を憎んでいると思い込んでいる。)

単語

- ▶ **no offense**
- ▶ **womanizer**
- ▶ **one night stand**

意味

- 気を悪くしないで欲しいんだけど
- 女たらし、浮気者
- 一夜限りの関係

シーン

友達の新しい彼氏が女たらし

会話の例

A: Hey, **no offense** but I've heard that your new boyfriend is a **womanizer**.
気を悪くしないで欲しいんだけど、君の新しい彼氏が女たらしって聞いたんだ。

B: I told you, that was just a **one night stand** which is now over.
言ったでしょ、彼とは一夜限りの関係だったって。もうとっくに終わってるわ。

POINT

・相手に対してネガティブもしくは批判的なことを言う際に **no offense**「決して悪意があって言うわけではないよ」と表現できます。**no offense** と言われた方は、**none taken**「大丈夫だよ」と返すのが一般的です。
例: **Most Japanese are not good at speaking English. No offense.** (多くの日本人は英語を話すのが苦手だよ。バカにしてるわけじゃないよ。)

・**womanize** は「女遊びをする、浮気をする」という意味の動詞で、**womanizer** は「女たらし、浮気者」という意味の名詞になります。
類義表現には **playboy** や **player** があります。

・**one night stand** 元々は「一晩限りの公演、コンサート」を表すフレーズ。そこから派生して、バーやクラブなどで出会った男女がそのまま一夜を共にした後に後腐れなく別れるような意味も。



Section06

彼氏/彼女

単語

- ▶ **guess what?**
- ▶ **possessive**
- ▶ **selfish**
- ▶ **that's news to me**
- ▶ **crazy about ~**

意味

ちょっと聞いてよ、ねえねえ
 独占欲が強い、束縛が強い
 自己中心的な
 それは初耳だ
 ～に夢中

シーン

新しい彼氏が束縛男

会話の例

A: **Guess what?** my new boyfriend is so **possessive**. I didn't know how **selfish** he is.

ねえ聞いて聞いて、新しい彼氏が超束縛が強いんだよね。あんな自己中な人だって知らなかったわ。

B: **Really? That's news to me.** I thought you were **crazy about him**.

本当に？ それは初耳だわ。あなたが彼に夢中なんだと思ってた。

POINT

・**guess what** 本来の意味は「なんだと思う？」ですが、「ねえねえ、聞いてよ」のようなカジュアルな会話の始め方の一つとしても使用されます。

例: **Guess what? Ken is going to get married!** (ねえ知ってる？ ケンが結婚するんだ！)

・**possessive** 「独占欲が強い、所有欲が強い」の意味を持つ形容詞。恋愛の場面では「束縛が強い」になります。

例: **Don't be so possessive.** (束縛しないでよ。)

You didn't use to be so possessive. (前はこんな束縛男じゃなかったのに。)

・**selfish** は日本語でいう「自己中な、わがままな」のような意味の形容詞。

例: **She really is a selfish person.** (彼女は本当にワガママな人だ。)

・**That's news to me** 「それは初耳です」「それは知らなかった」を表すお決まりフレーズ。

・**crazy about ~** 「～に夢中」は恋愛の場面で多く使用されますが、恋愛以外の場面でも頻出のフレーズです。

例: **I'm crazy about weight training.** (筋トレにハマっている。)

My son is crazy about watching Sci-Fi movie lately. (息子は最近SF映画に夢中です。)

単語

- ▶ charming
- ▶ dating
- ▶ my type
- ▶ supportive
- ▶ on your side

意味

愛嬌がある、可愛げがある
 付き合っている、デートする
 私のタイプ(好み)
 協力的な、支持する
 あなたの味方

シーン

娘に彼氏ができたと喜ぶ母

会話の例

A: Your new boyfriend seems like a nice guy. He is very **charming**.
 あなたの新しい彼氏とってもいい子そうじゃない。とっても愛嬌があるわ。

B: Hey mom, we're not **dating**. Besides, he's not really **my type**.
 ねえお母さん、私たち付き合っていないってば。それに彼は全く私のタイプじゃないわ。

A: Don't worry, your father and I are **totally supportive**. We are always **on your side** honey.
 心配しないで、お父さんと私は協力するわ。私たちはいつもあなたの味方だからね。

POINT

・**charming** 「魅力的な」カタカナ英語の”チャーミング”はもはや死語になりつつありますが、英語の**charming**は普通に日常会話で使用できます。

・**dating** 以外にも **go out with ~** で「~さんと付き合っている」と表現できます。

例: **I'm going out with Lisa.** (僕はリサと付き合っている。)

・**my type** で「私のタイプ」。人以外の好みの場合には **my taste** で表現できます。

例: **I watched the latest sci-fi movie but it wasn't my taste.** (あの最新作のSF映画を見たんだけど、僕の好みじゃなかったな。)

・**supportive** 「協力的、支えとなる」

例: **I just want to thank my teammates who have been supportive.** (支えてくれたチームメイト達に感謝したい。)

・**on your side** 「あなたの味方」

例: **They are on my side.** (彼らは僕の味方だ。)

Ken is always on Lisa's side. (ケンはいつもリサの肩を持つ。)

単語

- ▶ **low-key**
- ▶ **stunning**
- ▶ **boast**
- ▶ **here's the thing**

意味

秘密、控えめな、テンション低めな
素晴らしく魅力的な
自慢する
要は、つまりね、実はね

シーン

友人が交際を隠している

会話の例

A: My girlfriend and I are keeping our relationship **low-key**.

僕と彼女は付き合ってることを**秘密**にしてるんだ。

B: Why? She is **stunning**, so you should **boast** about her.

なんで? 彼女**すごく魅力的**なんだから、みんなに**自慢**するべきだよ。

A: **Here's the thing**, her dad doesn't like me.

実は、彼女のお父さんにあまり好かれてないんだ。

POINT

・**low-key** は学校では習いませんが、ネイティブ(特に若者)の日常会話の中では超頻出フレーズです。音のキーが低いという意味から「控えめ、派手でない、秘密な」というようなニュアンスを持つようになりました。

例: **Ken is a low-key person.** (ケンは物静かな人です。) **My wife wants our wedding party to be as low key as possible.** (妻は私たちの結婚パーティをできるだけ質素にしたがっている。)

・**stun** 本来の意味は「気絶させる」。そこから派生して、他人の容姿などを褒める際に「気絶するほど素晴らしい」というようなニュアンスで用いられます。

・**boast** 以外にも **brag** という単語も「自慢する」という意味を持ちます。**boast**が自信を持って誇らしげに何かを話しているポジティブなイメージに対して、**brag**はいい気になって話を誇張したり、自己を過大評価するなど、傲慢な態度で自慢をするようなネガティブなイメージ。

・**here's the thing** は、「今から本題を話すよ」というニュアンスを持ち、今から話すことが重要だよと **here's the thing** の後に続く内容を強調する働きがある、ネイティブ御用達の超頻出お決まりフレーズです。

単語

- ▶ **awesome**
- ▶ **he is something else**
- ▶ **fun guy**
- ▶ **have a blast**

意味

- 素晴らしい、超すごい、最高!
- 彼は本当にすごい人
- みんなを楽しませる人
- 楽しい時間を過ごす、超盛り上がる

シーン

女友達の彼氏を褒める

会話の例

A: **Hey, your boyfriend Ken, he is awesome!**

なあ、君の彼氏のケンってサイコーだな!

B: **Yeah, he is something.**

ほんと、すごい人よね。

A: **He is a fun guy, everybody likes him. Anytime we go out, I have a blast.**

あいつはマジで楽しい奴だよ、一緒にどっか遊びに行くと絶対に場が盛り上がるんだ。

POINT

・**awesome** 元々は「畏敬の念を抱かせるほど凄まじい」という形容詞。そこから派生した「超すげえ! 最高! ヤバい」のようなスラングでの意味の方が日常会話では頻繁に使用されます。類義語としては **amazing, fantastic, great, impressive** など。

・**~ is something (else)** 直訳で「~は他の何か」になりますが、正しい訳は「~は皆とはケタ違いにすごい」のような感じ。

例: **My new smartphone is something else.** (僕の新しいスマホはすごすぎる。)

~ is something else の類義表現で **on another level**「レベルが違う」があります。

例: **Her performance was on another level.** (彼女の演奏はケタ違いにすごかった。)

・**a fun guy** と **a funny guy** の違いについて。 **a fun guy** は周りの人を楽しい気持ちにさせたり、一緒に遊びに行き退屈しない人。一方 **a funny guy** はジョークで皆を笑わせたり面白い顔芸をしたり、とにかく面白い人というイメージの違い。

・**blast** 本来の意味は「爆発、爆音、突風」など。そこから派生して「めちゃくちゃ盛り上がる、楽しい」のようなスラング意味を持ちます。爆発してるかの如く場が盛り上がっているイメージ。

例: A: **How was the party?** B: **We had a blast!** (A: パーティどうだった? B: 俺らめちゃくちゃ楽しんだよ!)

・**Have a blast!** で「楽しんできてね!」というフレーズになります。

単語

- ▶ **who knew**
- ▶ **Don't jump the gun**
- ▶ **Duh**

意味

意外だね
焦らないで、早まらないで
当たり前でしょ？

シーン

偶然、友人のデートを目撃

会話の例

A: **Wow, you and Lisa, huh? Who knew.**
あなたとリサが？ 意外だね。

B: **Hey! Don't jump the gun. We are just friends.**
早とちりしないでよ、僕らはただの友達同士だよ。

A: **Duh, I'm just kidding.**
もちろんわかってるわよ、からかっただけよ。

POINT

・**who knew** には驚きや少しビックリしたニュアンスが含まれています。

例: **Who knew you could play instruments!** (楽器弾けるなんてめっちゃ意外だね!)

・**Don't jump the gun** 陸上競技で開始の合図のピストルが鳴る前に飛び出してしまう(フライングをすることから由来して発生したフレーズ)。

例: A: **I'm going to quit my college.** B: **Hey! Don't jump the gun. You should talk with your parents first.** (A: 私、大学辞めるんだ。B: 早まらないで。まずはご両親と話をした方がいいわよ。)

Don't jump the gun の類義表現に **Hold your horses** があります。直訳すると「君の馬を持って」。しっかりと手綱を引いて馬を抑えろ→逸る気持ちを抑えろというイメージ。冷静さを欠いている相手をなだめる際に使用しましょう。

例: A: **My boss is so annoying, I want to quit the job immediately.**

B: **Hold your horses, think twice before you quit.** (A: 上司が本当に嫌な奴なんだ。今すぐにも仕事を辞めたいよ。B: 落ち着いて、辞める前にもう一度よく考えなさい。)

・**Duh** は「当たり前でしょ？ 当然でしょ？」のような意味を持つスラング。「そんなこといちいち言う必要ないだろ？」のような皮肉めいたニュアンスを含んでいるので、目上の人やフォーマルな場所では使用しないようにご注意ください。

例: A: **Are you good at Spanish?** B: **Duh! My parents are Mexican.** (A: スペイン語得意なの？B: そりゃそうだろ、俺の両親メキシコ人だぜ。)



Section07

元カレ/元カノ

単語

- ▶ **ex-boyfriend/girlfriend**
- ▶ **seriously**
- ▶ **pathetic**

意味

元カレ/元カノ
マジで??
惨めな、哀れな

シーン

元カレとの関係をダラダラ
続けてしまう友人

会話の例

A: **My ex-boyfriend** and I talk on the phone when he's not with his girlfriend. Sometimes for hours.

元カレと何時間も電話する時もあるわ、元カレが彼女と一緒にいない時ね。

B: **Seriously??**

I never realized how **pathetic** you are.

マジで??

あんたがこんな惨めな人だなんて知らなかったわ。

POINT

・**ex-boyfriend**「元カレ」、**ex-girlfriend**で「元カノ」の意味。日常会話の中では**my ex** や**ex** だけで表現する場合があります。

例: **I work with my ex.** (元恋人と一緒に仕事をしてる。)

ex-husband「元夫」、**ex-wife**「元妻」のように婚姻関係が過去にあった相手に対しても使用可能。

恋愛以外の場面でも元000というように使えます。

例: **ex-president**「元社長」

exは少し口語的なので**former**「以前の、前任の」を使えばフォーマルな響きになります。

・**seriously**「真剣に、本当に」の意味を持つ副詞。

例: **Seriously, I miss my ex.** (マジで元カノが恋しいわあ。)

会話のリアクションで使用すると「マジで!？」の様なスラング的ニュアンスを持つ。

類義表現には**really?** と **for real?** があります。**really?** は意味はほぼ同じです。

フォーマルにもカジュアルでもどちらのシーンでも使用可能。それに対して**for real?** は口語的な表現で、カジュアルな響き。

・**pathetic**「情けない、哀れな」同情の感情は無く、完全に見下して、侮辱しているニュアンスが含まれていますので、使用する際には注意が必要。

単語

- ▶ **stay in touch**
- ▶ **suck**
- ▶ **move on**

意味

- 連絡を取り合う
- 最悪な、ひどい
- 気持ちを切り替える、踏ん切りをつける

シーン

元カレとの関係を断ち切れない

会話の例

A: Your ex **stays in touch**?
元カレがまだ**連絡**してくるの？

B: **All the time.**
いつもね。

A: **So that's why you can't forget about him, which is great for him but **sucks** for you.**
だから彼を忘れることができないんだね。彼にとっては最高だけど君にとっては**最悪**な状態だね。

B: **I know I have to **move on** though.**
踏ん切りつけるべきってわかってるんだけどね。

POINT

・**stay in touch** 「連絡を取り合う」メールや電話で連絡を取り合う状態を表すフレーズです。

例: **Good to see you again. Let's stay in touch.** (また会えてよかったよ！連絡取り合おうね。)

類義表現で**keep in touch**があります。基本的にほとんど同じ意味で置き換え可能ですが、どちらかという**keep in touch**の方が社交辞令的なニュアンスがあり、**stay in touch**の方が親密なニュアンスを持ちます (しかしほとんど差はなく、どちらを使うかは個人の好みでOK)。

・**suck** 「吸う」が本来の意味の動詞ですが「最悪、ひどい」という意味を持つスラング表現でもあります。

例: **His Spanish sucks.** (彼のスペイン語はひどすぎる。)かなり強いネガティブな表現のため、使うタイミングはしっかり見極めましょう。

・**move on** というフレーズには「前へ進む、昇進する、よい地位へ移る」などがあり、恋愛の場面では「気持ちを切り替える、あきらめる、踏ん切りをつける」など、終わった恋を乗り越えたり、好きだった誰かを諦めたりする際に使います。

例: **I'm done with my ex. I'm moving on.** (もう元カレとは終わった。私は前に進んでるのよ。)



Section08

恋愛相談

単語

- ▶ **relationship advice**
- ▶ **be through**
- ▶ **fire away**
- ▶ **stay-at-home husband**
- ▶ **stand a chance**

意味

- 恋に関するアドバイス
- 色々な経験をする、苦労する
- 遠慮せずにドンドン聞いて
- 専業主夫
- 見込みがある、チャンスがある、可能性がある

シーン

経験豊富な友人に恋愛相談

会話の例

A: Can I get some **relationship advice** from you? I think you have a lot of **experiences**.

君に**恋愛相談**していい? 経験豊富そうだから。

B: **Fire away**. Actually, I've **been through** a lot.

遠慮なくどうぞ。マジで色々苦労してきたからね。

A: My girlfriend wants me to be a **stay-at-home husband** after we get married. I want to keep working but her salary is three times bigger than mine. So, I don't **stand a chance** to refuse.

彼女が結婚後に僕に**専業主夫**になって欲しいんだ。僕は仕事を続けたいけど彼女の収入は僕の3倍あるから反論の**余地もない**んだよね。

POINT

・日本語の「恋愛相談」に完璧に合致する英語フレーズはありませんが、relationship やloveを活用して、**relationship advice / love advice**「恋愛についての助言」と表現し、文章を組み立てましょう。

・**fire away** 元々は「発砲し続ける、撃ち始める」という意味でした。そこから派生して「質問などをドンドンぶつける」や「質問や話をサッサと始める」となりました。

・**through**「通過する」という基本意味から、**have been through** で「色々な辛い経験をくぐり抜けてきた」とイメージしてください。

例: **You all have no idea what I've been through.** (私がどれだけ苦労したか君達は知らないんだ。)

・「専業主夫」は、昔は **househusband** と呼ばれていましたが今は **stay-at-home dad /husband** や **home maker, full-time dad** などの表現の方が一般的です。

・「～する見込みがある/ない」は、**have a chance / no chance** でもOK。

単語

- ▶ **in private**
- ▶ **chase**
- ▶ **e-mail (動詞)**
- ▶ **pushy**

意味

2人きりで、内々に
(恋愛対象に) 言い寄る、口説く
メールする
しつこい

シーン

友人がクラスメートにアプローチしている

会話の例

A: Can I talk to you **in private** for a second?

ちょっと2人きりで話できる?

B: **Sure.**

もちろん。

A: I'm chasing one of my classmate. So, I **emailed** her a billion times but she didn't answer.

クラスメートの子を口説こうとしてるんだ。それで彼女に死ぬほどメールしたんだけど返事がないんだ。

B: I think you should stop it. You're too **pushy**.

メールはもうやめな。それは余りにもしつこいよ。

POINT

・**in private** は「非公式に」の意味もあります。

例: **He made the announcement in private.** (彼は非公式にそれを発表した。)

・恋愛での **chase** は、誰かを落とそうと頑張っている状態を表します。

例: **The more you chase, the more he runs away.** (押せば押すほど彼に引かれてしまうよ。)

・**e-mail** は動詞形で使われることも多いです。「LINEする」と言う感覚ですね。名詞を動詞として活用することは結構あります。

例: **I googled about him.** (彼についてググってみた。)

You should microwave it. (それ電子レンジでチンした方がいいよ。)

・**push**「押す」の形容詞形 **pushy** は「押しが強い、しつこい」などの意味があります。

例: **The sales person was so pushy.** (あの販売員すごくしつこかったよ。)

単語

- ▶ **be in a pickle**
- ▶ **I don't know what to do**
- ▶ **break a leg**

意味

困った状況に陥る
 どうしていいかわからない
 頑張れ!、成功を祈ってるよ!

シーン

彼女の親御さんに会う前に友人に
 アドバイスを求める

会話の例

A: **Well, I'm in a pickle.**
 ちょっと困ったことになってて。

A: **I'm going to meet her mother right now. I don't know what to do. I need some advice**
 彼女のお母さんに会いに行くんだけど、一体どうしていいかわからないんだ。アドバイスが欲しい。

B: **You gotta smile a lot. You've gotta be charming. Definitely don't have an attitude.**
 ニコニコして、感じよくしろ。絶対に凶々しい態度を取るなよ。

B: **Don't worry, break a leg!!**
 あんま心配すんな。成功を祈ってるよ!!

POINT

・**pickle** 「ピクルス(酢漬け)」瓶に詰められているピクルスのような状況=身動きが取れず、困った状況というイメージ。

I'm in troubleや**I'm in pinch** などと同じ意味を持ちます。少し古いフレーズですが、若いネイティブでも使用する人は多いです。

・**I don't know what to do** 「どうしていいかさっぱりわからない」**what**の後を変化させるだけで色々な言い回しに変化できます。

例:**I don't know what to say** 「なんて言っているかわからない」

I don't know what you mean 「あなたの言ってる意味がわからない」など。

・**break a leg** 元々はアメリカの舞台、演劇業界で使用されていた「頑張れ!、幸運を祈る!」の意味を持つフレーズ。

break legs! と言ってしまうと「両足を折れ!」となってしまうので注意を。

単語

- ▶ **ruin**
- ▶ **not a big deal**
- ▶ **bestie**
- ▶ **I know how you feel**

意味

台無しにする、破壊する

大したことじゃない、全然問題ないよ

親友、ベストフレンド

あなたの気持ちがわかる

シーン

失恋した友達を慰める

会話の例

A: I don't wanna **ruin** your holiday. You don't have to listen to this.

無理して聞いてくれなくていいんだよ、君の休日を**台無し**にしたくない。

B: It's **not a big deal**. You're my **bestie**.

気にすんなって、君は僕の**親友**なんだから。

B: I know It's hard to believe people when they say, "**I know how you feel**", but I actually know how you feel.

「**気持ちわかるよ**」なんてウソくさい言葉だけど、僕は君の辛い気持ちを本当にわかってるよ。

POINT

・**ruin**「台無しにする、破壊する」いい雰囲気や計画、または人間関係がぶち壊れてしまうイメージを持ってください。**ruin everything**「何もかも全て台無し」という「台無し」を更に強調した表現もあります。

例: **The coronavirus ruined everything this year.** (コロナウイルスのせいで今年は全てが台無しになってしまった。)

・**big deal**「重大なこと」その否定形 **not a big deal / no big deal**「大したことじゃない」という、相手からの感謝や謝罪に謙虚に応じる時に使用するフレーズ。

・**bestie** は **best friend** が変化した「親友」という意味のスラング。これ以外にも、**sidekick**「相棒」、**buddy**「仲間」など、仲のいい友人を表現するフレーズはたくさんあるので、覚えて英会話力に磨きをかけましょう。

・**I know how you feel.** (あなたの気持ちわかります。) 相手に対する共感を表すフレーズ。これだけを言うと「辛い経験をしているのはあなただけではない」と相手に対して少し厳しいニュアンスと捉えられるリスクもあります。**I think I know how you feel** のように **I think** をつけることによって「あなたの気持ちをわかってあげられるかもしれない」という控えめな表現を付け足すこともできます。



Section09

デート

単語

- ▶ **tied up**
- ▶ **ask out**

意味

忙しい、手が離せない状態
(デートなどに)誘う

シーン

デートに誘う

会話の例

A: **Are you busy now?**
今忙しい?

B: **Actually, I'm a bit tied up at the moment.**
ちょっと今は手が離せない。

A: **I was thinking of getting some lunch. Do you know a place?**
ランチに行こうと思ってたんだけど、どこかオススメある?

B: **Are you asking me out?**
それってデートに誘ってるの?

POINT

・ビジネスシーンでもよく見かける**tied up**「手が離せない、忙しい」本来は「釘付けにされている、固定されている」の意味を持ちます。

例: **Do you keep the dog tied up in your house?** (ちゃんと犬を(放し飼いにせず)家に繋いでますか?)

そこから派生して、「自由に身動きが取れない」→「忙しい」の意味を持つようになりました。

例: **Lisa has been tied up with her laundry.** (リサは洗濯作業に追われている。)

・**ask out** は **ask someone to go out** のことで、誰かをきちんとしたデートに誘うことです。

例: **I'm going to ask out Lisa.** (リサをデートに誘うつもりだ。)

単語

- ▶ **blind date**
- ▶ **nervous**
- ▶ **speak of the devil**

意味

ブラインドデート(初対面の人とのデート)
緊張している
噂をすれば影

シーン

ブラインドデートに臨む友人

会話の例

A: I have a **blind date** tonight. So I'm really getting **nervous**.

今夜ブラインドデートに行くんだ。だからなんか緊張してきたわ。

B: That sounds good! How did you get to know each other?

いいじゃん! 相手の人とはどこで知り合ったの?

A: An acquaintance introduced us. Oh **speak of the devil**. I just got a call from him.

知り合いからの紹介よ。あ、噂をすれば彼から電話がかかってきたわ。

POINT

・**blind date** 日本ではあまり馴染みが無いかもしれませんが、知人の紹介やデートアプリで知り合った人など一度も直接会ったことのない人とのデートのこと。日本のお見合いのシステムはこのブラインドデートと少し似ていますね。

・**nervous** 「緊張している」

例: **Hey, the wedding is so close! Are you nervous?** (結婚式もうすぐだね! 緊張してる?)

nervous との類似表現で **anxious** 「不安、心配」があります。**I'm anxious** で心配の感情を多く含んだ「緊張する」を表現できます。

例: **I'm anxious about the surgery.** (手術が不安で仕方ない。)しかし最近ではポジティブな内容でも **anxious** を使う場合も増えているので、必ずしもネガティブな内容に使うとは限りません。

・**speak of the devil** 誰か特定の話をしていたら、ちょうどその当人が現れること。日本語で言うところの「噂をすれば影」。**devil** 「悪魔」と言う単語が入っていますが悪口や陰口を言っている場合に限らず、普通の話や当人を褒めていた時にも使用できます。

例: **Speak of the devil. I was just talking about you with my friend.** (噂をすれば影ね、ちょうど友達とあなたの話をしていたところなの。)

単語

- ▶ **what do you do for a living?**
- ▶ **small world**
- ▶ **are you seeing anyone?**

意味

お仕事は何をされていますか？
世間は狭いですね
今お付き合いされている方はいますか？

シーン

初めましての会話

会話の例

A: **What do you do for a living?**
お仕事は何をなさってるんですか？

B: **I work for junior high school as a math teacher. I studied pedagogy at OOO university.**
中学校で数学の先生をしています。OOO大学で教育学を学びました。

A: **Wow I graduated the same college ! It's a small world !**
おお、同じ大学出身ですね！世間は狭いですね！

B: **Totally. By the way, are you seeing anyone?**
ホントですね。ところで、今お付き合いされてる方はいらっしゃいますか？

POINT

・**What do you do for a living?** で(お仕事は何を?)のフレーズになります。(for living を省略して what do you doだけで聞いてもOK)

What's your job? はかなりストレートな響きを持っていて、言い方や場合によっては失礼になる可能性もあるので避ける人も多いです。

「今、何してるんですか？」と聞きたい場合は**What are you doing (now)?**

・**small world** 日本語で言うところの「世間は狭いですねえ」に当たる。意外な共通点や知り合いが発覚した時などに使用されるフレーズ。

small world だけでもいいですが、多くの場合 **It's a small world**、驚きを強調したい時は **What a small world** などの言い方をします。

・**Do you have a boyfriend / girlfriend ?** は直接的すぎるので、**Are you seeing anyone?**と聞いた方がより自然でトゲのない言い方になります。(欧米では日本のように“告白”という区切りがないため、「頻繁にデートに行くけどまだ正式にカップルではない」というなんとも言えない時期があります。)

単語

- ▶ **too forward**
- ▶ **should be here in a minute**
- ▶ **Don't be sorry**
- ▶ **awkward**

意味

図々しい、厚かましい
もうすぐここに着く
謝らないで
気まずい

シーン

突然ナンパされた

会話の例

A: I don't want to be **too forward**, but would you like to have some dinner with me?

ちょっと**厚かましい**かもしれないけど、一緒にディナー行きませんか？

B: I'm so sorry, I have a boyfriend, and he **should be here in a minute**.

本当にごめんなさい、彼氏がいるんです。**もう少しでここに到着する**と思います。

A: **Don't be!** but this is a little bit **awkward**. Well, he's a lucky man.

謝らないで! でもちょっと**気まずい**けどね。とにかく君の彼氏さんは幸運な男だね。

POINT

・**forward**「前へ、先へ」という意味の副詞。そこから派生して「出しゃばりな、前へ出すぎな」という意味もあります。

例:A: **Can I borrow your PC for just two weeks? That's no problem. Right?**

B: **That's too forward of you.** (A: 君のパソコン2週間だけ借りてもいい? 別に問題ないでしょ? B: おい、図々しすぎるぞ。)

・**should** には「すべき」だけではなく「～なはず」という意味もあります。だから**should be here**「ここにいるはず」**in a minute**「後少しで」となります。もちろん **in a minute** の代わりに **any minute** など他の表現を使ってもOK。

・**I'm sorry** と言われたら **Don't be sorry** と返答して正解ですが、ネイティブは相手がすでにsorryと言った場合 **sorry**を省略して **Don't be** だけで返答することが多いです。このような小さなテクニックの積み重ねで英会話力に磨きをかけましょう。

・**awkward** 「ぎこちない、厄介な」という意味を持つ形容詞。そして多くの場面で、「気まずい」の表現に使用されます。

例:**I bumped into my ex. That was super awkward!** (元カレとバッタリ遭遇しちゃったの、チョー気まずかった!)

単語

- ▶ **Why don't you ~**
- ▶ **crack up**
- ▶ **about to**
- ▶ **you have my word**
- ▶ **be there or be square**

意味

～してみてください
 爆笑させる、ウケを取る
 ～するところ
 約束するよ
 絶対来てね!

シーン

仕事中に誕生パーティに誘われた

会話の例

A: **Why don't you come to my birthday party ? I want you to crack us up as usual.**

私の誕生パーティに**来ない**? いつもみたいに私たちを**爆笑**させて欲しいんだよね。

B: **I'm just about to finish my work. I'll be there, you have my word.**

ちょうど仕事を**終わらせる**ところだよ。あとで行くよ、**約束**する。

A: **Okay! Be there or be square !**
 オッケー! **絶対**きてね!

POINT

・**Why don't you ~** 「なぜあなたは～しないの?」のような高圧的なニュアンスではなく実際は「～してみてくださいかどうか?」という「提案」を表すフレーズ。

・**crack up** 元々の意味は「衝突する、大破する」。そこから転じて「大爆笑」の意味を持ちます。
 例: **Don't crack yourself up.** (自分で言って自分で爆笑するなよ。)

・**be about to** を過去形にすると「～するところだった」という意味になります。
 例: A: **I booked the hotel.** B: **Thanks! I was just about to ask you.** (A: あのホテル予約したよ。B: ありがとう! ちょうど今君にそれを頼もうとしていたんだ。)

・**you have my word** 日常会話で頻出のフレーズ。**word**「自分が言ったこと」を **have**「保持する」=「約束を守る、～を保証する」というイメージ。
 例: **You have my word on this product's quality.** (この商品の品質は私が保証します。)

・**square**「四角、正方形」は「保守的でつまらない奴」というスラング意味も。
 つまり**be there or be square** で「(パーティや集まりに)来る、参加する or ノリが悪い奴になる」=「絶対来てね!」「絶対に来た方がいいぜ!」のようになります。



Section10

悩み相談

単語

- ▶ **Do me a favor**
- ▶ **depressed**
- ▶ **get bullied**
- ▶ **spill the beans**
- ▶ **gossip**

意味

お願いがあるんだけど
 落ち込んでいる、憂鬱そう
 イジメられている
 うっかり秘密を漏らす
 ゴシップ、噂話

シーン

友人がイジメで悩んでいる

会話の例

A: **Do me a favor**, just talk to Lisa. She looks **depressed**.

お願いがあるんだけど、リサと話してもらえる？ なんか落ち込んでるみたいなんだ。

B: She's **getting bullied** at work because her best friend carelessly **spilled the beans**.

会社でイジメられてるのよ、リサの親友が彼女の秘密をうっかり漏らしてしまったから。

A: I had a similar situation when I was a student. I had a horrible reputation because of **gossip**.

僕も学生の頃に似たような経験をしたよ。ゴシップのせいで僕の評判は最悪だった。

POINT

・**Do me a favor?**「ちょっとお願い聞いてくれる？」丁寧に頼みたい時は**Could (Would) you do me a favor?** 会社などビジネスシーンで言う時は **Would you mind doing me a favor?** など、状況や相手によって変えましょう。

・**be depressed** 「落ち込んでる」より少し軽めの類義表現に **feeling down** があります。

例: **I'm feeling down about my ex.** (元カレのことで少し凹んでいる。)

・**bully** 「いじめる、いじめっ子」の受動態で **get+ bullied** = 「イジメられる」になります。**I'm being bullied** でもOK。

・**spill** は「こぼす」という意味が。手から豆がこぼれるように秘密が漏れてしまうというイメージ。

例: **Don't spill the beans.** (誰にも言うんじゃないぞ。)

・**gossip** 「ゴシップ、噂話」類義語の **rumor** 「噂」との違いは、**rumor** は信憑性のない噂です。つまり **gossip** は事実に基づいた噂話、**rumor** は根拠のない噂話。

単語

- ▶ **decent**
- ▶ **friend zone**
- ▶ **Do you have someone in your mind?**
- ▶ **split up ~**

意味

きちんとした、寛大な、親切な
 友達以上恋人未満
 今好きな人いる？
 ~と別れる

シーン

友達以上恋人未満に悩む

会話の例

A: You really are an incredibly **decent** man.
 あなたって信じられないほどマトモな人ね！

B: That's why I'm always in the **friend zone**.
 だからいつもイイ人止まりなんだけどね。

A: **Do you have someone in your mind?**
 今気になってる人とかいる？

B: **Actually, I've just split up with my girlfriend.**
 実は彼女と別れたばかりなんだ。

POINT

・基本的な意味は**decent**「社会から許容される」→つまり、「きちんとした、礼儀正しい」という意味になります。

例：**a decent family**「きちんとした家族→家柄のいい家族」

a decent cloths「きちんとした服装→正装やドレスコードに沿った服装」

派生した意味で「寛大な、親切な」という意味を持ちます。**kind** や **generous** が類義語。

decentは優しさに加えて常識や正しい価値観を持ち合わせているイメージ。

・**friend zone** で「友達以上恋人未満のいい人」という意味になります。

例：**Ken wants to date Lisa but she is keeping him in the friend zone.** (ケンはりさと付き合いたいが、りさはケンを男友達扱いしかしない。)

She friend zoned me. (彼女は僕を友達というカテゴリに入れた。)のように、動詞としても使用できます。

・**Do you have someone in your mind?** よりもっとカジュアルで頻繁に使用される表現で **Do you have a crush (on someone)?** (好きな人いる?) もあります。

・**split** 単体の意味は「2つに分かれる、裂ける、割れる」。そこから派生して **split up with ~** で「~と仲違いする、分かれる」になります。

例：**My parent's split up when I was four.** (僕が4歳の時に両親は離婚した。)

単語

- ▶ **divorce**
- ▶ **widower/widow**
- ▶ **I'm sorry for your loss**

意味

- 離婚する
- 男やもめ/未亡人
- お悔やみ申し上げます

シーン

子供の世話に悩む父

会話の例

A: It's so tough to take care of my kids alone.

1人で子育ては大変ですよ。

B: So, you're **divorced**?

離婚されたのですか？

A: No, I'm a **widower**.

いえ、妻に先立たれてしまって。

B: Oh... **I'm sorry for your loss.**

それは…お悔やみ申し上げます。

POINT

・**divorce**「離婚する」婚姻関係が破綻した場合にのみ使用されます。婚姻関係のないカップルの破局には使用できないので注意。

・**widower**「男やもめ、妻に先立たれた夫」対義語は**widow**「未亡人」になります。

これらの表現は死別に対してのみ使用可能で、他の事情(離婚など)でひとりになった場合は含まれません。

・**I'm sorry for your loss** 日本語でいうところの「お悔やみ申し上げます」に当たるフレーズ。

どのような状況、立場であろうと使用可能な弔意を表すひと言です。

購入者特典

本書で登場したフレーズや英単語は、実際の海外ドラマを参考にオリジナルで作成していますが、実際にどの海外ドラマを参考にしたのかは、大人の事情で言及することができません。

ただ、海外ドラマで単語やフレーズを覚えることは非常に効果的で楽しい勉強法です。「視覚」「聴覚」そして「使用する時の感情」を知ることができるため、圧倒的に覚えやすく実際に英会話で使える英単語・フレーズとして身に付きます。

そして僕自身、海外ドラママニアということもあり、視聴すること自体が楽しい上に、勉強にもなるため、なんだか得している気分になります。

そのため、どの海外ドラマを参考にしたのかお伝えして、読者の方にも実際に海外ドラマを見ながら勉強してもらう方法がないかと考えた結果「希望者に公式LINEでお伝えする」ことにしました。

本書を手にとっていただいたあなたには、海外ドラマで勉強する楽しさと効果を体験していただきたい、と切に願うからこそ特別に用意しています。

公式LINEにお友達登録いただき「海外ドラマフレーズ」とメッセージいただければ、各フレーズ・単語ごとにどの海外ドラマを参考にしたのか、お伝えいたします。

是非メッセージを送っていただき、楽しみながら英会話で使えるリアルなフレーズ・英単語を身に付けていきましょう。

※「海外ドラマフレーズ」のみ入力ください。例えば、「海外ドラマフレーズ希望」などにご入力いただくと、対応することができません。

